



かさまの 栗

このコーナーでは、「笠間の栗」に対する市の取り組みをより多くの方に知っていただくため、「笠間の栗」に関する情報を定期的に発信していきます。

栗の季節も間近に

栗の木は、5月下旬から花が咲き始め、今は緑色の毬いがが育っているところです。笠間市では、8月下旬頃から栗の収穫が始まります。毬が茶色く色づき落果したら、いよいよ栗の季節の始まりです。



栗の花



若い毬

コールドチェーンの徹底

栗の皮と果肉の間には、栗の実を食べる害虫であるクリシギゾウムシの卵が産みつけられていることがあります。このため常陸農業協同組合（JA常陸）笠間地区栗部会では、これまで栗選果場で薬剤によるくん蒸殺虫じょうを行い、栗を常温で市場出荷してきましたが、今年から薬剤による殺虫を廃止し、コールドチェーンに切り替えることにしました。

冷蔵状態を保っている間は卵が仮死状態となり孵化することはないため、コールドチェーンを徹底することで虫の発生を防ぐことができます。

また、収穫後0度～マイナス2度で約4週間冷蔵貯蔵することで、97%の確率で卵は仮死ではなく完全に殺虫されます。一方、栗は低温状態になると甘くなる性質を持つため、冷蔵貯蔵により、殺虫効果と品質向上効果を同時に得ることができます。

今後も、関係者間で協力連携しながら、品質の良い「笠間の栗」の提供を目指していきます。



JA常陸 栗選果場

問 農政課（内線526）